

編集後記

冬將軍を実感しないうちに、早くも3月。暖冬の季節は、嬉しいような物足りないような、中途半端な感覚を残して、春一番を迎えさせてくれました。3月が慌ただしい年度末なのも、日本人の季節的な身体リズムに合っているような気がします。

さて、今月は感覚統合療法の特集です。「療法」という以上は、必ず効果と限界をもつという編集子の考えから、今回のタイトルにしました。が、感覚統合療法は、佐藤剛氏も述べているように「名前のみが一人歩きし、正式な方法で実践している人が非常に少ない」こともあり、新しい療法が登場するときのさまざまな試練に直面しているのかもしれません。同氏の総説的な論文には、この療法の全体的な位置づけを正しく理解するための豊富な資料が含まれています。

土田氏、佐藤ヨシイ氏の症例中心の論文は、臨床の実際的な場面で評価と治療に多くの示唆を与えてくれます。また内山氏らの、「適応や限界を論ずるにはま

だまだデータが不足している。感覚統合療法が自閉症に対する治療法として確立されるためには、的確な評価がなされた症例の蓄積が必要」の指摘や、藤原氏の「感覚統合療法をすることによって効果のある精神遅滞のタイプを見いだす臨床的な眼がまず必要」の提言は、他の療法にも言えることであり、セラピストにとっては特に心しておきたい点です。障害児教育・保育の関係者のアンケート結果を中心とした坂本氏の論文は、感覚統合療法的な考えかたや方法を、療育の場でどのように浸透させるかの具体的な問題提起もあり、興味深い内容です。

「運動学習」、「障害者と職業」の講座は、いずれも継続中で、毎回楽しみにしている連載です。

始まったばかりの「世界の同僚たち」は原稿集めに苦労していますが、世界中を一回りしたいと考えています。紹介したい人物に心当たりのかたはぜひ御一報ください。

(富岡 詔子)

理学療法と作業療法

(第22巻 第3号)

1988年3月15日発行(毎月1回15日発行)

1部定価 1,350円(配送料60円)

(年ぎめ予約購読料 15,120円)
(送料弊社負担)

発行 株式会社 医学書院

代表者 金原 優

〒113-91 東京都文京区本郷5-24-3

電話 受付台 (03) 817-5600

本誌編集室直通 (03) 817-5703

(担当: 渡邊・細田)

販売部直通 (03) 817-5659・5660

広告室直通 (03) 817-5696

ファクシミリ (03) 815-7802

振替口座 東京 7-96693 番

印刷所 三報社印刷(株) 電話(03)637-0005

広告申込所 (株)医薬広告 電話(03)814-1971

Published by IGAKU-SHOIN Ltd. 5-24-3 Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo © 1988, Printed in Japan

本誌の内容を無断で複写・複製・転載すると、著作権・出版権の侵害となることがありますので御注意ください。

<編集顧問>

天 児 民 和

九州労災病院名誉院長

五 味 重 春

東京都立医療技術短大校長

砂 原 茂 一

国立療養所東京病院名誉院長

津 山 直 一

国立身体障害者リハビリ
センター総長

(五十音順、以下同じ)

<編集委員>

上 田 敏

東大リハビリ部

荻 島 秀 男

ペインリハビリテーシ
ョンクリニック高島平
整形外科

大 喜 多 潤

兵庫県玉津福祉センター

寺 山 久 美 子

東京都立医療技術短大

富 岡 詔 子

信州大学医療技術短大

奈 良 勲

金沢大学医療技術短大

福 屋 靖 子

筑波大学

松 村 秩

東京都立医療技術短大

<編集同人>

池 松 洋 子

岩 崎 テ ル 子

宇 都 宮 初 夫

金 子 誠 喜

鎌 倉 矩 子

木 村 信 子

菊 地 延 子

小 嶋 裕

斎 藤 み ち 子

鈴 木 明 子

高 橋 正 明

田 口 順 子

橋 元 隆

古 川 宏

松 沢 博

宮 崎 和 子

宮 前 珠 子

山 田 貞 雄

矢 谷 令 子